学校番号	３１４

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	化学　（数研出版）						
副教材等	新課程版 2025 セミナー化学＋化学基礎　（第一学習社出版） 2026 新課程版　ビーライン化学						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業のなかで、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・実験・観察実習を行うことがあります。
・問題集の問題を解くことによって知識の定着の確認を行います。定期的な提出があります。

2　学習の到達目標

化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な 資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な 観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。
（2）観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
（3）化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	修得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の状態	化学反応の速さとしくみ 1.化学反応の速さ 2.反応条件と反応速度 3.化学反応のしくみ	a:化学における反応速度の定義を理解する。 b:反応速度式を用いて実験結果の処理などを行い,反応速度や速度定数を求めることができる。 c:化学反応のしくみと活性化エネルギーを用いて考えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 実験レポート	ワークシート 問題集課題 小テスト 実験レポート
		化学平衡 1.可逆反応と化学平衡 2.平衡状態の変化 3.電解質水溶液の化学平衡	a:・化学平衡の法則を理解し,与えられた反応の平衡定数を濃度を用いて記述することができる。 b:・濃度,圧力,温度を変化させた際に平衡がどちらに移動するか,ルシャトリエの原理に基づいて判断できる。 c:・電離平衡およびそれに関わるさまざまな現象について考えようとしている。			
	無機物質	非金属元素 1.元素の分類と周期表 2.水素・貴ガス元素 3.ハロゲン元素 4.酸素・硫黄 5.窒素・リン 6.炭素・ケイ素	a:・周期表に基づきながら,酸化物の示す性質や単体の酸化作用,還元作用を理解する。 b:ハロゲンの酸化力に基づいて,その反応性の強弱を判断できる。 c:窒素およびリンの単体や化合物について考えようとしている。			
		金属元素(I)-典型元素- 1.アルカリ金属元素 2.アルカリ土類金属元素 3.アルミニウム・スズ・鉛	a:アルカリ金属元素の単体や化合物の性質を理解する。 b:カルシウムの反応について体系立てた知識を表現できる。 c:アルミニウムやスズ,鉛などの両性金属の単体や化合物について考えようとしている。			
		金属元素(II)-遷移元素- 1.遷移元素の特徴 2.鉄 3.銅 4.銀・金 5.亜鉛 6.クロム・マンガン 7.その他の遷移金属 8.金属イオンの分離・確認	a:遷移元素にはどのような元素があるか理解する。 b:金属イオンの系統分析の考え方を用いて,複数の金属イオンが存在する水溶液から目的の金属を分離,確認することができる。 c:金属イオンの分離や確認について考えようとしている。			

2学期	有機化合物	有機化合物の分類と分析 1 有機化合物の特徴と分類 2 有機化合物の分析	a:・有機化合物の表し方について，分子式や構造式，示性式について理解する。 ・異性体について理解する。 b:・有機化合物を，分子式や構造式，示性式で表すことができる。 c:・元素分析を中心とした有機化合物の分析について考えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 実験レポート	ワークシート 問題集課題 小テスト 実験レポート
		脂肪族炭化水素 1 飽和炭化水素 2 不飽和炭化水素	a:・アルカンの立体構造や異性体について理解する。 b:・アルケンやアルキンの立体構造を判断することができる。 c:・アルケンやアルキンの特徴やその構造，反応性について考えようとしている			
		アルコールと関連化合物 1 アルコールとエーテル 2 アルデヒドとケトン 3 カルボン酸 4 エステルと油脂	a:・アルコールの一般式や構造式，名称，分類について理解する。 b:・アルコールやエーテルについて，その構造式や名称を答えることができる。 c:・エステルや油脂，セッケンの特徴やその構造，反応性について考えようとしている。			
		芳香族化合物 1 芳香族炭化水素 2 フェノール類と芳香族カルボン酸 3 芳香族アミンとアゾ化合物 4 有機化合物の分離	a:・芳香族炭化水素の化学式や名称について理解する。 b:・反応性や検出法，酸の強さなどに基づいて，適切なフェノール類や芳香族カルボン酸を判断することができる。 c:・芳香族アミンやアゾ化合物の特徴やその構造，反応性について考えようとしている。			
	高分子化合物	高分子化合物の性質 1.高分子化合物の構造と性質 天然高分子化合物 1.糖類 2.アミノ酸とタンパク質 3.核酸	a:高分子化合物の定義や分類，構造について理解する。 b:化学式や名称，構造，性質に基づいて糖類を分類することができる。 c:核酸の特徴やその構造について考えようとしている。			
		合成高分子化合物 1.合成繊維 2.合成樹脂 3.ゴム	a:合成繊維、合成樹脂、ゴムの特徴やその重合方法，構造，利用例について興味をもつ。 b:構造式に基づいて，合成繊維に関する量的計算を行うことができる。 c:天然ゴムや合成ゴムの特徴や構造，利用例，性質について考えようとしている。			

3学期	終章	化学とともに歩む	a:化学で学んだ内容と人間生活の結びつきについて理解する。 b:身のまわりで用いられている化学で学んだ内容について説明することができる。 c:化学（科学）が社会においてなすべきことについて考えようとしている。	小テスト	実験レポート	実験レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度